

総合評価落札方式の改定概要

令和2年10月1日以降適用

令和2年8月

栃木県県土整備部 監理課
技術管理課



とちまるくん 県土整備部ver

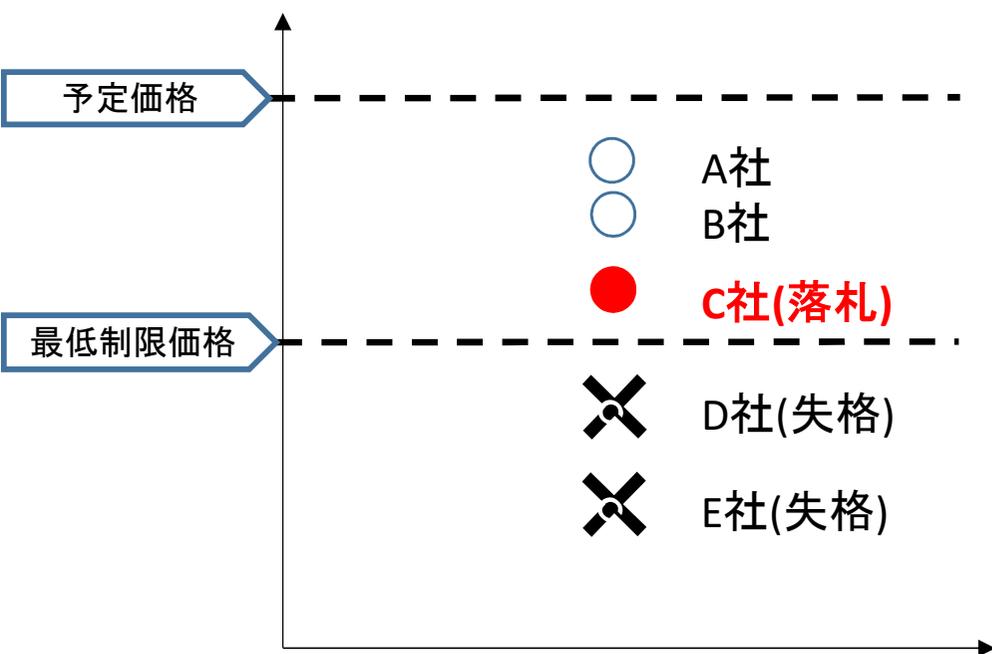
1. 栃木県の入札制度
2. 適用基準の見直し
3. 評価項目等の見直し
 - 1) 工種タイプ別評価の廃止
 - 2) 「簡易型」評価の新設
 - 3) 新たな評価項目の設定
4. 学識経験者への意見聴取方式の見直し
5. 新たな審査方式の導入

1. 栃木県の入札制度

指名競争入札・・・施工能力を有する発注者が指名した業者のみ参加可能
一般競争入札・・・工事実績等、一定の基準を満たす業者は全て参加可能
価格競争方式・・・**基準額以上で最も低い金額で入札した業者が落札**

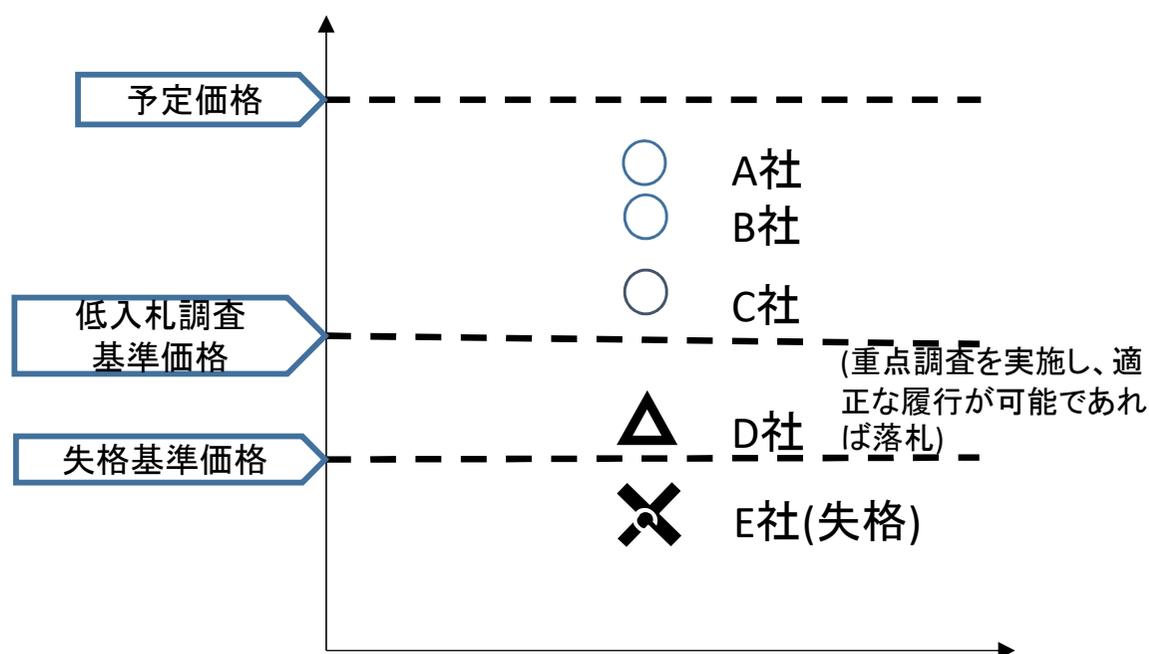
指名競争・価格競争方式

最低制限価格以上で入札価格の最も低い入札者が落札



一般競争・価格競争方式

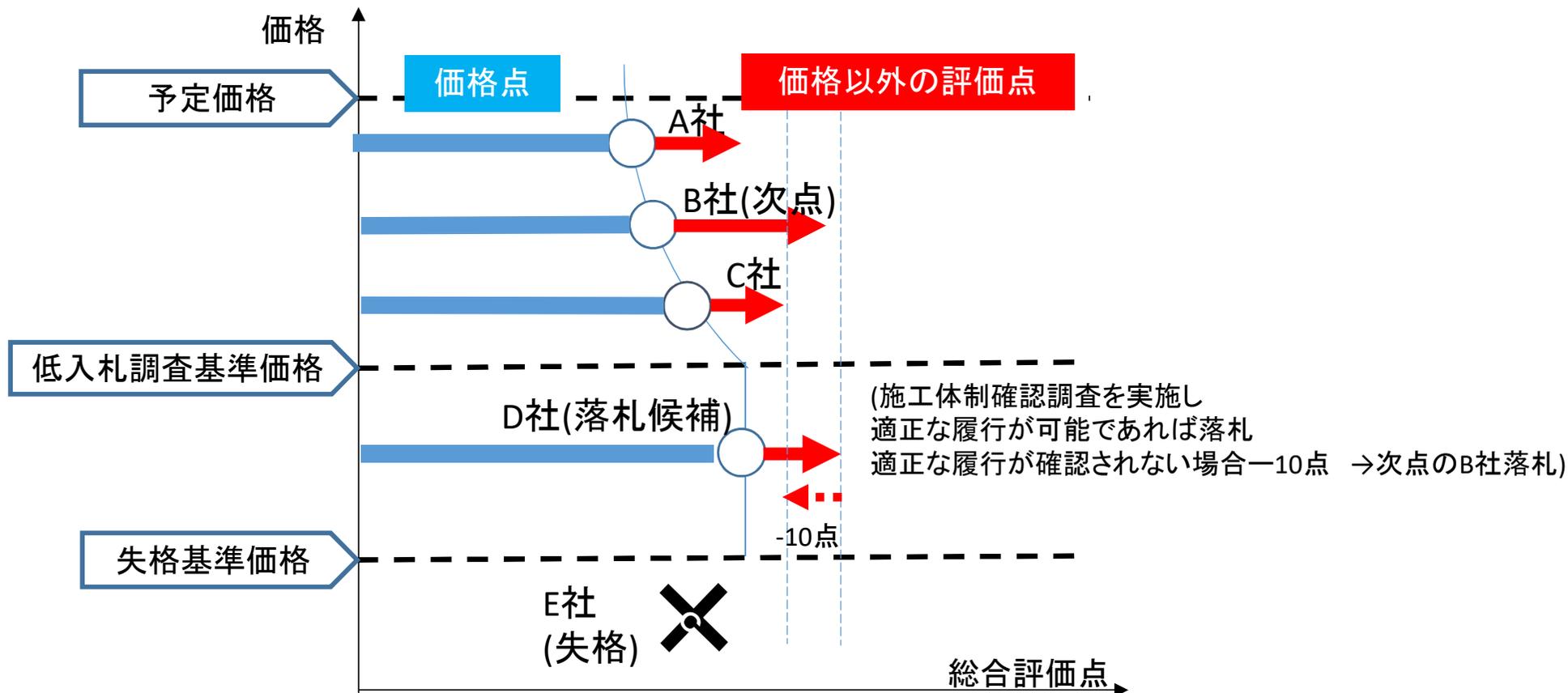
失格基準価格以上で入札価格の最も低い入札者が落札



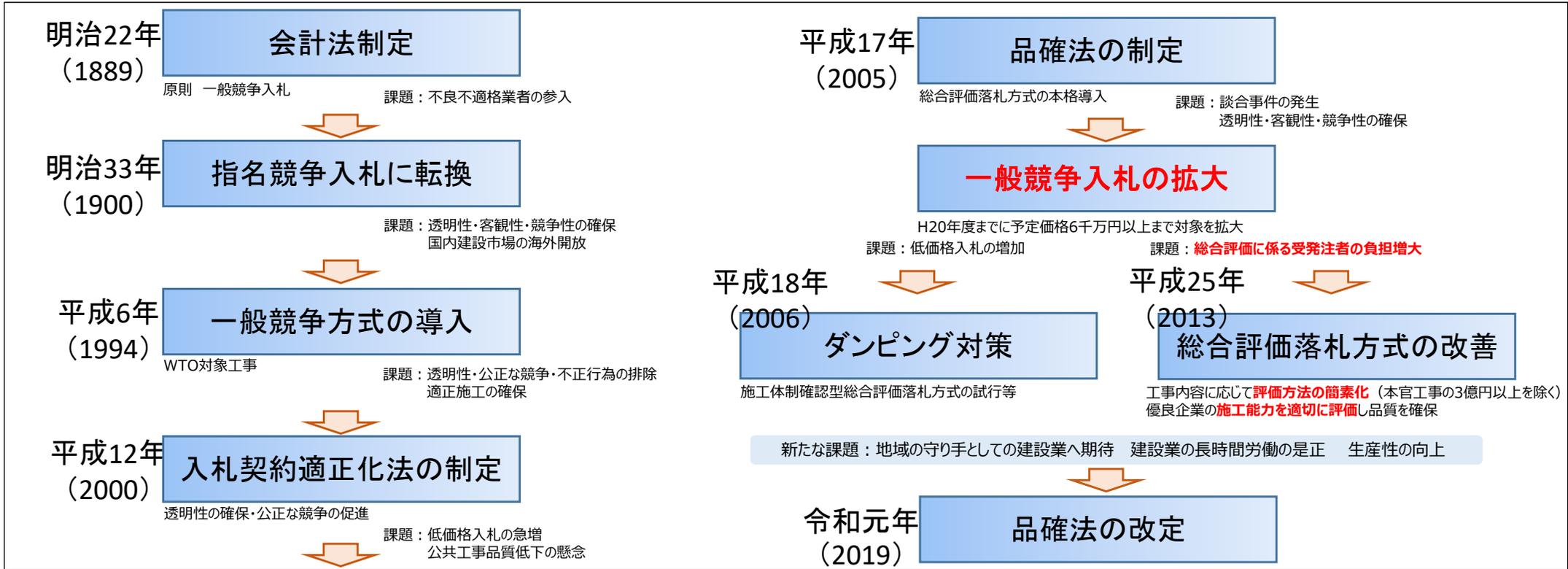
総合評価方式 . . . 価格と価格以外の要素を総合的に評価し、最も評価の高い業者が落札

一般競争・総合評価方式

価格点と価格以外の評価点の合計の最も高い入札者が落札



優れた技術力を有する者が施工者となり、工事の品質が向上

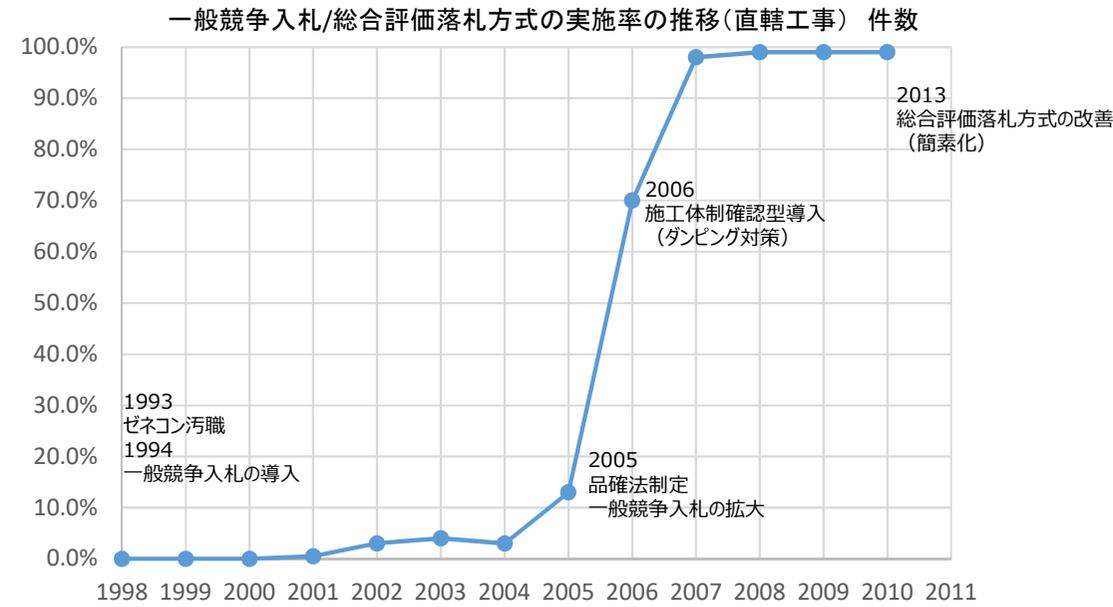


■国の公共工事の入札契約制度は、**工事の適正な施工・建設業の健全な発達**の観点から、時代の課題に対応して、制度の見直しが行われてきた。

■栃木県では、平成17(2005)年から総合評価落札方式の試行を開始

■**本県の平成31(2019)年度の工事※は、一般競争入札が約4.6%(指名競争入札95.4%)の状況**

※土木工事のみ集計(建築工事除く)



2. 適用基準の見直し

一般競争入札の執行基準

	現行		見直し
設計金額	5,000万円以上	3,000万円以上 5,000万円未満	3,000万円以上に拡大
執行基準	原則 一般競争入札	指名競争入札 一部※1)一般競争入札	原則※2) 一般競争入札

※1 ①一般競争入札が適当と認められる工事 ②土木一式工事、舗装工事

※2 災害復旧工事、補正予算等で早期執行が必要な1億円未満の工事は対象外

3,000万～5,000万の工事を段階的に拡大

総合評価落札方式の執行基準

	現行	見直し
執行基準	原則、5,000万円以上の 一般競争入札とする10工種※3)	3,000万円以上に 段階的に拡大

※3 10工種(土木一式、建築一式、鋼構造物(鋼橋梁)、とび土工(PC橋梁)、電気、管、舗装、塗装、機械器具設置、解体

3. 評価項目等の見直し

1) 工種タイプ別評価の廃止

【現行】

13種類の
評価基準を統一

評価区分	タイプ	A-I	A-II	A-III	B-I	B-II	C-I	C-II	D-I	D-II	E	F	G	H	
	工種等	県内 土木 建築	県内 土木 (地域 貢献重 視)	県内 土木 【指名】	大手・ 専門	大手・ 専門 (地域 要件設 定)	舗装	舗装 【指名】	橋梁 上部	橋梁 上部 (地域 要件設 定)	県内 電気 管	県内 機械 器具 設置	県内 塗装	県内 解体	
	項目	配点	配点	配点	配点	配点	配点	配点	配点	配点	配点	配点	配点	配点	
企業の実績	工事成績評定	○	○	-	○	○	○	-	○	○	○	○	○	-	
	優良工事受賞	○	○	-	○	○	○	-	○	○	-	-	-	-	
	施工実績	企業	○	○	-	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
		技術者経験	○	-	-	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
		技術者資格	-	-	○	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-
	CPD	○	-	-	-	-	○	○	-	○	○	-	-	○	
	技術者数	○	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	-	○	
	専門技術力	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-	-	○	-	
	ISO	○	-	-	-	-	○	-	-	-	○	○	○	○	
	安全衛生活動	○	○	-	-	-	○	-	-	-	○	○	○	○	
施工計画	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
企業の信頼性	地域精通度	地域内拠点	○	○	-	○	-	○	-	○	-	○	○	○	○
		近隣施工実績	-	-	-	○	○	-	-	○	○	-	-	-	-
	地域貢献	災害時協定	○	○	-	-	-	○	-	-	-	○	○	○	○
		災害時の継続力	○	○	-	-	-	○	-	-	-	○	○	○	○
		補修・補強実績	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-
地域活動(ボランティア等)	○	○	-	-	-	○	-	-	-	○	○	○	○		



【見直し後】

評価区分	項目	
企業の施工能力	企業の技術力	工事成績評定
		優良工事の受賞
		企業の施工実績
		ISO
		安全衛生活動
		工事無事故の実績
	配置予定技術者の能力	登録基幹技能者の配置
		施工実績
		工事成績評定
		継続教育
企業の信頼性	地域精通度	地域内拠点
	地域貢献	地域の守り手実績
		災害時の継続力(BCP)
		地域活動の実績
		①ボランティア活動実績
		②インターンシップ受入実績
		③協力団体指定実績(水防・道路・河川)
	④県の環境施策取組実績	
	⑤担い手確保の取組に関する実績	
	⑥就労支援等事業雇用実績	
先進取組	先進的取組への評価	
	①週休2日制工事実績	
	②ICT活用工事実績	
	③若手・女性技術者実績	
④建設キャリアアップシステム導入		
施工計画書		

※ 橋梁上部工事、総合スポーツゾーン関連工事については一部独自項目あり

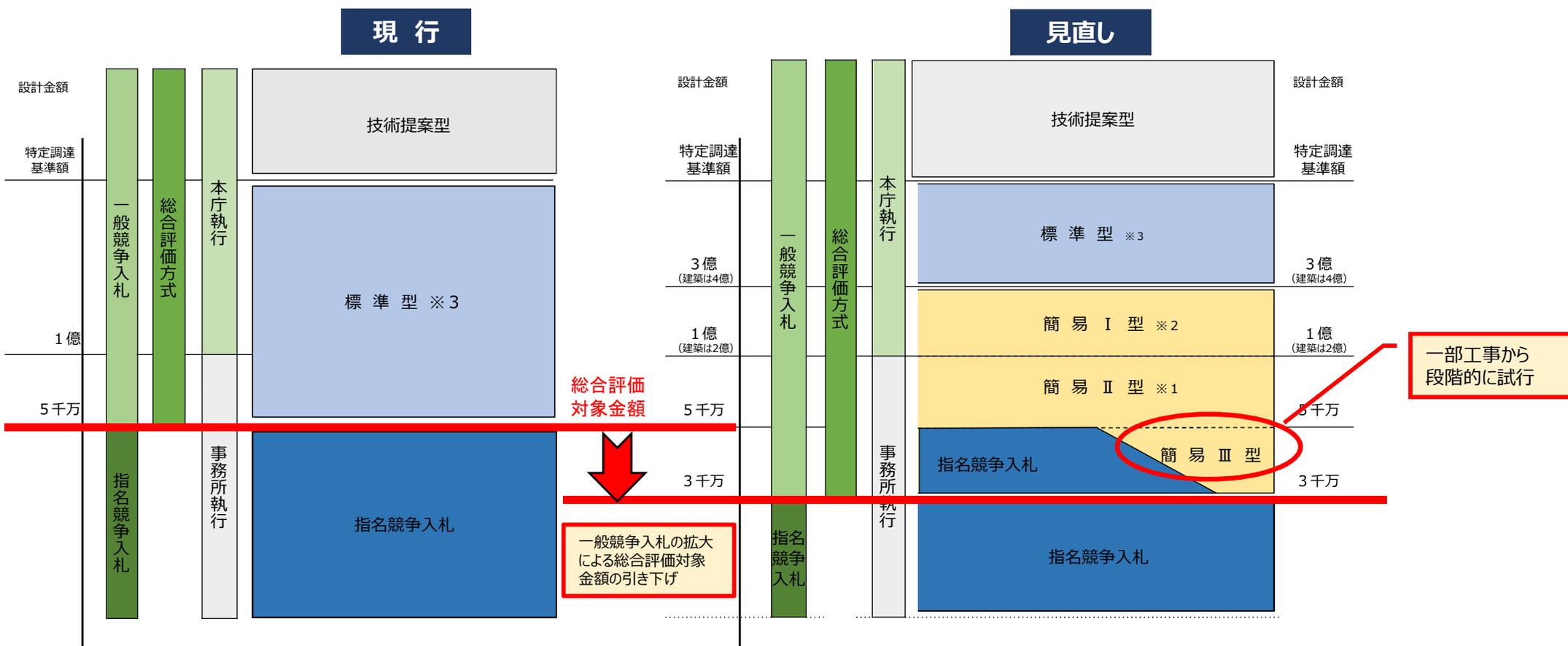
2)「簡易型」評価の新設

評価項目の見直し

[簡易型] ⇒企業の施工能力や配置予定技術者の能力により技術力を評価 **(I型～III型を新設)**

[標準型] ⇒企業の施工能力等に加え、施工上の課題に対する施工計画を求めて技術力を評価

[技術提案型] ⇒企業の施工能力等に加え、技術提案を求めて技術力等を評価



※1 現場条件の制約など施工上の課題がある場合は、簡易型 I・標準型を適用することができる。

※2 現場条件の制約など施工上の課題がある場合は、標準型を適用することができる。

※3 技術的工夫の余地の大きい工事であって、民間企業の優れた技術力を活用することにより社会的便益の期待できる工事は技術提案型を適用することができる。

2)「簡易型」評価の新設

施工計画の作成区分の見直し

簡易Ⅱ・Ⅲ型では施工計画の提出は求めない。簡易Ⅰ型では施工計画の内容を簡素化

現行

	項目	作成枚数
標準型	工事毎にテーマ設定 2項目5提案	A4版 2枚 (1項目1枚) (図表等 1枚追加可)
簡易型	・当該現場の環境条件 ・施工上の留意点 ・創意工夫の提案	A4版 1枚

※簡易型は技術的工夫が少ない工事で採用



見直し

	設計金額	項目	作成枚数
標準型	3億円以上	工事毎にテーマ設定 2項目5提案	A4版 2枚 (1項目1枚) (図表等 1枚追加可)
簡易Ⅰ型	1億円以上 3億円未満 (建築は4億円未満)	簡素化 <u>1項目毎4提案</u>	A4版 1枚
簡易Ⅱ型	5,000万円以上 1億円未満 (建築は2億円未満)	負担減 <u>施工計画 提出なし</u>	
簡易Ⅲ型	3,000万円以上 5,000万円未満		

<標準型> 施工計画テーマ設定例

- ・ 既成杭の施工および管理について ， コンクリート構造物の品質管理について
⇒ 個別工事の特性に応じたテーマを設定し、課題に対する対策について技術的所見を求める

<簡易Ⅰ型> 施工計画テーマ設定例

- ・ 品質管理について ， 工程管理について ， 施工管理について
⇒ あらかじめ設定したテーマ(標準設定)から発注者が工事内容に応じて選択した1つのテーマについて所見を求める

3. 評価項目等の見直し

3) 新たな評価項目の設定

【現行】

- ・ 総合評価導入後15年が経過し、一部評価項目は取組が浸透し、業者間で差が生じにくい状況
- ・ 働き方改革や生産性向上対策など新規施策の取組状況を適切に反映する評価項目とする必要がある。



【見直し後】

- ・ 評価項目内容および配点を見直し。陳腐化した項目を削除または配点減
- ・ 災害対応等の取組実績、先進的取組に関する評価項目を追加

⇒ 品質確保のための効果的な評価項目の構築

総合評価落札方式の見直し概要(評価項目)

現行

10工種13タイプ毎に異なる評価項目・配点
例【A-Iタイプ】県内業者(土木一式工事)

見直し

原則、すべての工種(10工種)で統一の評価項目・配点

評価区分		評価項目		配点
		項目	基準	
企業の施工能力	企業の技術力	工事成績評定	72~78以上	4.0
		優良工事の受賞	知事・所長	2.0
		企業の施工実績	同種類似工事実績	2.0
		技術者数	5人以上	1.0
		専門技術力	工場有無・完工高5割	
		ISO	9001 14001	1.0
		安全衛生活動	実績	1.0
	配置予定技術者の能力	施工実績	同種類似工事実績	0.5
		継続教育	CPD	0.5
企業の信頼性	地域精通度	地域内拠点	拠点の有無	2.0
	地域貢献	災害時協定	協定締結	0.5
		災害時の継続力	認定	0.5
		地域活動の実績	項目数 1~4	2.0
		①ボランティア活動実績		
		②インターンシップ受入実績		
		③維持管理業務取組実績		
		④就労支援等事業雇用実績		
	⑤水防協力団体指定実績			
	⑥消防団加入者・事業所認定実績			
⑦県の環境施策				
施工計画書			8.0	
計			25.0	



評価区分		評価項目		簡易型			標準型
				III型	II型	I型	
		項目	基準	配点	配点	配点	配点
企業の施工能力	企業の技術力	工事成績評定	76~80以上	3.0	3.0	3.0	3.0
		優良工事の受賞	知事・知事奨励賞・所長		2.0	2.0	2.0
		企業の施工実績	同種類似工事実績		2.0	2.0	2.0
		ISO	9001 14001		0.5	0.5	0.5
		安全衛生活動	実績	0.5	0.5	0.5	0.5
		工事無事故の実績	実績	0.5	0.5	0.5	0.5
		登録基幹技能者の配置	配置予定			0.5	0.5
	配置予定技術者の能力	施工実績	同種類似工事実績			1.0	1.0
		工事成績評定	80点以上実績			1.0	1.0
		継続教育	CPD			1.0	1.0
企業の信頼性	地域精通度	地域内拠点	拠点の有無	3.0	2.0	2.0	2.0
	地域貢献	地域の守り手実績	実績・協定締結	2.0	2.0	2.0	2.0
		災害時の継続力(BCP)	認定		0.5	0.5	0.5
		地域活動の実績	項目数 1~4	2.0	2.0	2.0	2.0
		①ボランティア活動実績					
		②インターンシップ受入実績					
		③協力団体指定実績(水防・道路・河川)					
		④県の環境施策取組実績					
	⑤担い手確保の取組に関する実績						
	⑥就労支援等事業雇用実績						
先進取組	先進的取組への評価	項目数 (標準型、簡易I型) 1~3 (簡易II型) 1~2			1.0	1.5	1.5
	①週休2日制工事実績						
	②ICT活用工事実績						
	③若手・女性技術者実績						
④建設キャリアアップシステム導入							
施工計画書					4.0 (簡易型)	8.0	
計			11.0	16.0	24.0	28.0	

4. 学識経験者への意見聴取方式の見直し(事前聴取方式)

【現行】

- ・ 企業の施工実績(同種類似工事)等や「施工計画」で求める内容について工事毎に学識経験者から意見聴取

⇒ 工事毎の落札者決定基準検討に要する負担大

⇒ 原則月1回の総合評価委員会に審議が限られることから入札事務が長期化



【見直し後】

- ・ 設計金額によらず各工事で共通となる項目および比較的技術的工夫の少ない工事における施工計画のテーマを標準化 （標準設定）

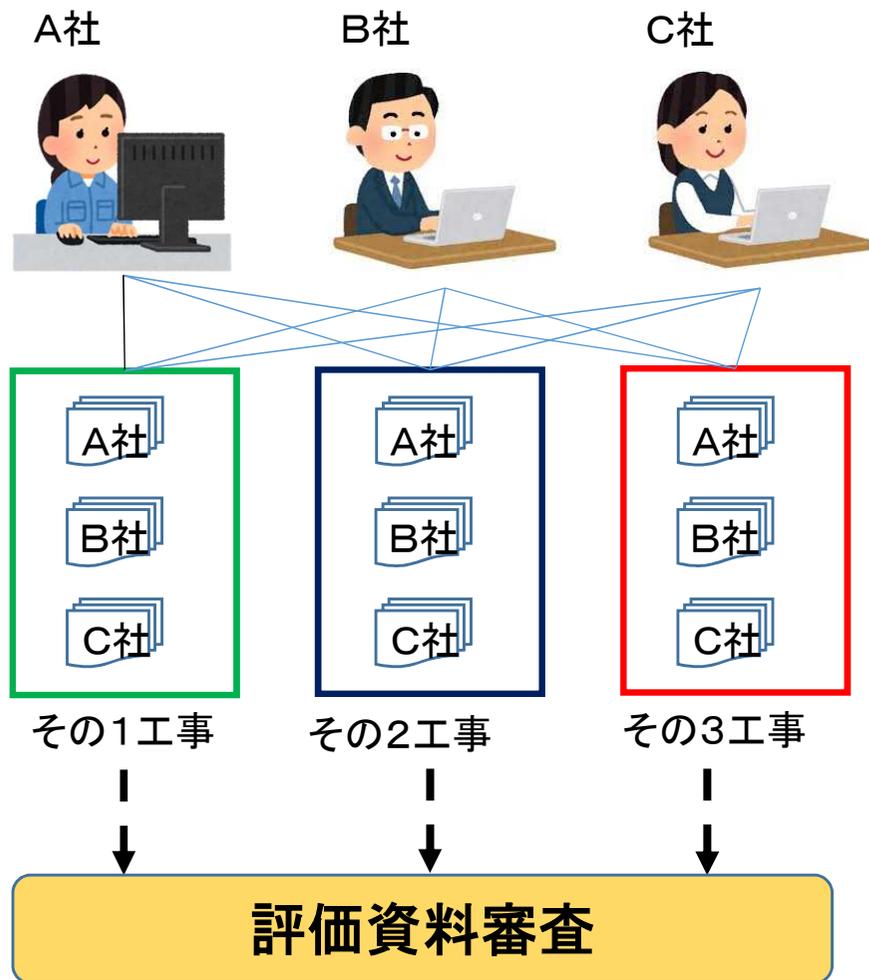
- ・ 本庁担当課が予め学識経験者に標準設定について意見聴取
標準設定を採用する場合は個別意見聴取を省略できる（簡易型のみ）

⇒ 学識経験者への意見聴取の簡素化、事務手続きの迅速化

5. 新たな審査方式の導入

(現行)

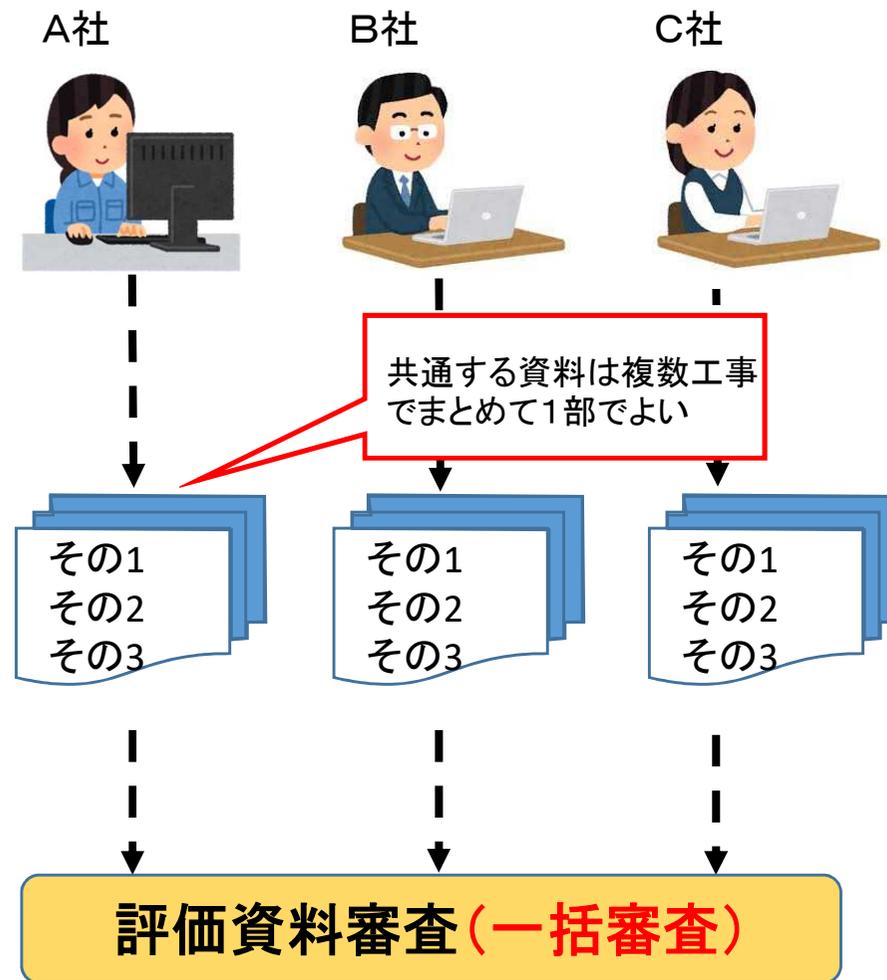
各工事毎に評価資料を作成・評価



分離分割発注工事の入札の場合

(見直し後)

共通する資料を一括作成・評価



資料作成・確認の負担軽減

入札制度見直しに関する問い合わせ先

- 一般競争入札制度に関すること
- 評価項目算定資料に関すること

監理課 工事管理担当

kanrika@pref.tochigi.lg.jp

- 総合評価落札方式に関すること

技術管理課 技術調整担当

kensa@pref.tochigi.lg.jp